

堺市消防局では、予防救急の取組を推進することとなり、当局管内の救急事故発生状況を分析しております。今日はその中で見えてきた事故発生の傾向、特に乳幼児（0～6歳まで）の事故について、お話をしたいと思います。

乳幼児（0～6歳まで）の事故は、交通事故よりも家庭内で起こる割合が多いという傾向があります。実際に起こっている事故の種類は転倒・転落、誤飲・誤嚥、やけどや溺水など様々です。

乳幼児は、自分で自分を守ることができません。そばにいる大人が、子供の事故に対する正しい認識を持って、事故を起こさないための予防を普段から心がけましょう！

### ①事故の危険を知って下さい！！

参考として、ホームページ内に掲載しております下図参照【子どもの家庭内事故防止】（地図をクリックすると詳しい内容が表示されます。）をご覧ください。



ページ内の絵をクリックして下さい。

### ②いざという時のために！！①

また、急なお子さんの事故や病気の際にあわてない様に、【WEBサイト「こどもの救急」】を一度ご覧ください。このサイトは、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。事前に使い方を体験し、いざという時はお子さんのためにも、慌てず落ち着いて対応して下さい。



ページ内の絵をクリックして下さい。

### ②いざという時のために！！②

お子さんの急な病気で困った時は、【電話番号：#8000】で小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院などのアドバイスをうけられます。覚えておいて下さい！

